

科目名				授業の種類	授業担当者
子どもの健康と安全				演習	井口 美雪
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1	1	30	15	後期	幼免: 選択 保育士: 必修
〔授業の目的・ねらい〕 子どもの心身の健康及び安全に関わる保育活動について、心身の発育・発達に合わせた適切な接し方や援助方法を考える。また、子どもの疾病とその予防及び適切な対処について理解し、緊急時の対応・事故防止・安全管理について学ぶ。					
〔授業全体の内容と概要〕 1. 保健的観点を踏まえた保育環境と援助 2. 保育における健康及び安全の管理(衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え) 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応(応急処置・救急蘇生法等) 4. 感染症対策(感染症ガイドライン・具体的な対策) 5. 保育における保健的対応(3歳未満児への対応・慢性疾患・アレルギー疾患・障害のある子ども等) 6. 健康及び安全の管理の実施体制(組織的な対応・保健計画・自治体・専門機関・家庭等との連携)					
〔受講上の注意事項〕 教科書や配布されたプリントをよく読み、実際の保育現場を想定しながら、援助方法や対応について考える。					
〔使用テキスト〕 新・基本16 子どもの健康と安全(中央法規) 公益財団法人児童育成協会＝監修/松田博雄、金森三枝＝編集 随時 子どもの健康と安全演習ノート(診断と治療社)より資料配布			〔評価基準〕 定期試験70% 演習後の課題レポートまたは小テスト(30%)		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕					
回	項目	授業内容			
1	保健的観点を踏まえた保育環境及び援助	子どもの健康と保育の環境、子どもの健康に対する個別的対応と集団全体の健康及び安全の管理・健康診断			
2	保育における健康及び安全の管理①	屋内外の衛生管理・日常の清潔保持と消毒			
3	保育における健康及び安全の管理②	事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え			
4	保育における健康及び安全の管理③	災害への備え・小テスト①			
5	子どもの体調不良に対する適切な対応①	体調不良や障害が発生した場合の対応 子どもに起こりやすい体調不良とケア			
6	子どもの体調不良に対する適切な対応②	子どもに置きやすい事故の応急処置①			
7	子どもの体調不良に対する適切な対応③	子どもに置きやすい事故の応急処置② 小テスト②			
8	子どもの体調不良に対する適切な対応④	応急処置及び蘇生法(日本赤十字社救急短期講習)			
9	感染症対策①	感染症について・感染経路・予防接種			
10	感染症対策②	保育園・幼稚園で感染しやすい感染症における予防と罹患時の対応			
11	感染症対策③	感染性胃腸炎における吐物等の処理について 演習 小テスト③			
12	保育における保健的対応①	保育における保健的対応の基本的な考え方 3歳未満児への対応			
13	保育における保健的対応②	個別的な配慮を要する子どもへの対応 障害のある子どもへの対応			
14	健康及び安全の管理の実施体制	職員間連携・保健活動の計画及び評価・母子保健・専門機関・地域との連携			
15	試験				
実務教員としての経歴		長野県公立小中学校養護教諭39年 清泉女学院大学 非常勤講師1年			
実務経験と授業の関連		養護教諭の経験を活かし、子どもの心身の健康の保持増進・感染症対策・安全管理について伝える。			